

【表9】道路等の災害復旧工事進捗状況  
(平成30年2月28日現在)

区分	件数	災害査定額	契約件数
道路	197件		118件
河川	27件	約44億円	26件
橋梁	20件		7件
公園	8件	約51億円	5件
水道	32件	約9.2億円	31件
下水道	32件	約35億円	30件



架け替えに向けて  
工事が進む新川橋



堤防の復旧が進む鉄砂川

成や防災教育の教材の充実など幅広い取り組みを進めていきます。

取り組み分野

新たな都市基盤の整備

上・下水道施設の復旧

下水道の被災管路延長11、856mの内、11、646mが施工中で未発注は橋梁部の210mを残すのみとなっております。国道・県道・町道の橋梁架け替え後に復旧工事を行います。

下水道は、被災管路延長22、389mの内、16、354mが発注済みとなっております。残る復旧工事については、入札が終わり次第、順次進めていきます。【表9】参照

二次災害を防ぐための内水氾濫防止対策

地盤沈下した秋津川沿いの住宅地では、集中豪雨などによる二次災害が懸念されるため、内水氾濫防止対策を実施しています。

現在は、福富地区と安永地区で水位観測センサーを設置し、外水・内水の双方について調査分析を行っています。これらの調査分析結果を基に、県と協議の上、雨水管理総合計画を立て、対策を実施していきます。

擁壁をはじめとする宅地の復旧

谷や沢を埋めた造成宅地または傾斜地盤上に腹付けした大規模な造成宅地での滑動や崩落を防止するため、宅地耐震化推進事業の一つとして、大規模盛土造成地滑動崩落防止事業を実施し

ています。

その対象となっている39地区のボーリング調査や地形調査などを実施し、調査結果の報告と今後の事業スケジュールについて、順次説明会を行っています。

平成30年度から着工し、平成31年度まで実施する予定です。その他、避難路に接する擁壁の復旧事業に取り組んでいます。

災害に強い幹線道路ネットワークの整備

災害に強いまちの実現に向けて、災害時にも住民の避難や物資輸送などの機能を発揮できるよう、幹線道路ネットワークの整備に向けて取り組んでいます。

町の主要な幹線道路である県道熊本高森線の4車線化では、用地取得のための交渉などが行われています。沿道の防災性、景観性、通行安全性などを向上させるため、電柱の地中化などについて関係各所に要望等を行っています。

健全で円滑な復興を図るための被災市街地復興推進地域の指定

大きく被災した地域の健全で円滑な復興を図るため、被災市街地復興推進地域の指定を行いました。平成29年2月に住民説明会を行い、同年3月10日に都市計画決定をしました。

被災者の早期の生活再建をめざし、今後、土地区画整理事業や地区計画など、市街地の整備改善に必要な手続き

を進めていきます。

狭あい道路を解消し、公園が配置された住宅エリアの整備

災害時の避難地整備や道幅の狭い道路の改善による緊急車両の進入路確保など、人命に関わる問題の解消に向け、災害に強いまちとして再建するため、木山地区に被災市街地復興土地区画整理事業を進めています。

昨年の11月に作成した区域案について都市計画に係る説明会を実施し、その縦覧を行った上、12月20日に都市計画審議会に諮りましたが、否決という結果となりました。同事業に対する住民の理解が不十分ではないか等という委員の意見により、対象地権者410人を県と町の合同で個別訪問し、詳細な事業説明とアンケート調査を行いました。その後、3月5日の都市計画審議会において同事業が全会一致で可決され、3月8日に都市計画決定しました。

今後も、個別相談や座談会(勉強会)などを実施し、住民の皆さまの理解と不安解消に努めていきます。少しでも早く当該地区の災害に強いまちづくりと住民の皆さまの生活再建ができるよう取り組んでいきます。

取り組み分野

産業の振興

農業用基盤施設の復旧

地震で被災した農地や農業用施設などについては、随時現地調査を実施しており、農地等災害復旧事業として、災